

つくば市記者会 御中

発信日：令和7年（2025年）12月17日（水）

発信元：つくば市 会計事務局

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

請求書を電子データで受け取り、大幅な作業時間短縮・正確性向上へ

県内初 電子請求書システムを導入します

つくば市は、正確な行政事務の推進と、職員の負担軽減を実現することを目的に、電子請求書システム「BtoBプラットフォーム請求書」（株式会社インフォマート提供）の導入を決定しました（県内自治体で初導入）。令和8年1月に先行運用を開始し、同年8月から本格運用する予定です。

【導入の背景】

つくば市では令和4年8月に市役所内の伝票決裁を電子化しましたが、事業者から受け取る請求書は紙のままでした。このため、伝票を起票する際に、請求書の情報を伝票決裁システムに手入力する必要があり、入力ミスを防ぐための内容チェックなどに多大な時間を要していました。請求書関連業務は、正確さが求められる一方で、業務量は膨大（年間10万件以上）であり、さらに毎年数千件ずつ増加している状況です。

【導入の効果】

これまでの紙の請求書を電子データで受け取ることで、伝票決裁システムに直接取り込むことが可能となり、伝票起票時の金額や債権者情報などの手入力作業が不要になります。伝票の決裁や審査の段階においても、チェック作業が大きく軽減され、大幅な作業時間の短縮と正確性の向上が実現します。

本システム導入により、慢性的なマンパワー不足を含む様々な課題が解決されるとともに、職員の業務内容も市民サービスや政策立案といった創造的な業務に注力できるようになります。

BtoBプラットフォーム請求書ホームページ
<https://www.infomart.co.jp/seikyu/index.asp>

